

## 6 男性の課題に対応した男女共同参画の推進

### (1) 男性への男女共同参画に関する理解促進

男女共同参画に対する男性の関心を高め、理解の促進を図る広報・啓発を行うとともに、男性の意識や課題に合った講座等を実施する。

#### ① KYOのあけぼのフェスティバル(継続・再掲)(男女共同参画課)

### (2) 男性の育児・介護・地域活動等への参加促進

男性の育児・介護・地域活動等への参加を促進する。また、高齢男性の地域社会への参画を支援する。

#### ① 「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進企業認証制度(継続・再掲)(男女共同参画課)

#### ② 男性職員の育児休業取得促進等(継続・再掲)(給与厚生課、教職員課)

## 7 家庭・地域における男女共同参画の推進

### (1) 男女共同参画による地域の多様な活動の支援

家庭や地域社会の課題解決や文化・産業の振興など、男女共同参画による地域の多様な活動を支援する。

また、好事例の発信等により地域住民の男女共同参画についての理解促進を図る。

#### ① 地域団体育成事業(継続)(男女共同参画課)

女性団体の実施する男女共同参画推進のための事業等に助成した。

平成 25 年度実施結果	平成 26 年度実施状況
助成団体数 6団体 8事業	継 続

#### ② 地域力再生プロジェクト(継続)(府民力推進課)

公共性のある地域課題の解決のため、多様な主体が自主的に取り組む活動を地域力再生活動として支援し、府内全域での活発化と拡がりの実現を図った。

平成 25 年度実施結果	平成 26 年度実施状況
(1) 地域力再生プロジェクト支援事業交付金 地域住民が協働して自主的に地域課題に取り組む地域力再生活動、広域的な課題や地域の複合的な課題等の解決を図るため、多様な主体の協働・連携により取り組む地域力再生活動を支援(交付件数 749件) (2) NPOパートナーシップセンターの運営 NPOと行政等との交流・連携・協働の拠点として、府内の各センターを運営 (3) 地域力再生プロジェクト推進事業 地域力再生プラットフォームの構築等(96プラットフォーム、205事業)	(1) 地域力再生プロジェクト支援事業交付金 地域住民が協働して自主的に地域課題に取り組む地域力再生活動、広域的な課題や地域の複合的な課題等の解決を図るため、多様な主体の協働・連携により取り組む地域力再生活動を支援(交付件数 737件) (2) NPOパートナーシップセンターの運営 NPOと行政等との交流・連携・協働の拠点として、府内の各センターを運営 (3) 地域力再生プロジェクト推進事業 地域力再生プラットフォームの構築等(99プラットフォーム)

#### ③ 府民力推進会議(継続)(府民力推進課)

地域力再生及び府民参画・協働を進めるための施策の検討等を実施した。

#### ④ NPO活動支援融資事業(継続)(府民力推進課)

地域の課題解決や活性化の担い手であるNPO等の社会貢献活動を支援するため、「京都府民力の力援基金」を活用したNPO法人向け無利子融資「きょうとNPO支援連携融資制度」を公益財団法人京都地域創造基金及び金融機関との協働により実施した。(25年度に京都市との協調で融資制度を拡充)

平成 25 年度実施結果	平成 26 年度実施状況
<きょうとNPO支援連携融資制度> 取扱開始 平成25年6月3日 融資限度額 1法人につき500万円以内 利 率 年2.0% (固定) 京都府及び京都市の補助により、借入時の元本300万円まで実質無利子、300万円超～500万円まで実質金利1% 融資 26件	融資 14件

#### ⑤ 「京の公共人材」未来を担う人づくり推進事業(継続)(府民力推進課)

平成25年度は京都の産・官・学・民が連携し、地域社会において公共活動を担う「地域公共人材」を育成するための教育プログラムを開発した。平成26年度はNPO等が求める事業運営や組織のマネジメント能力を持った人材を育成し、NPO法人等への就職を支援した。

平成 25 年度実施結果	平成 26 年度実施状況
人材育成及び地域と外部人材のマッチング 15人	人材育成数 10人

#### ⑥ 地域力再生活動応援事業(新規)(府民力推進課)

地域力再生活動団体の活動資金確保の多様化を図るため、多様な分野の複数団体が連携して行う、地域住民が寄附しやすい仕組みづくりを支援した。

平成 26 年度実施状況
助成協議体数 5協議体 (予定)

#### ⑦ 文化マーケット創出事業(継続)(文化芸術振興課)

若手作家・職人と鑑賞者(買い手)との出会いの場の創設等を図るため、京都文化博物館別館等で、作品を自由に展示販売することのできる「京都アートフリーマーケット」を開催した。

平成 25 年度実施結果	平成 26 年度実施状況
(1) 京都アートフリーマーケット2013秋 開催期間 平成25年9月21日～23日 開催場所 京都府京都文化博物館別館及び周辺 出展者数 155グループ(155ブース) 来場者数 41,500名(3日間計) (2) 京都アートフリーマーケット2014春 開催期間 平成26年3月21日～23日 開催場所 京都府京都文化博物館別館及び周辺 出展者数 148グループ(148ブース) 来場者数 40,900名(3日間計)	(1) 京都アートフリーマーケット2014秋 開催期間 平成25年9月19日～21日 開催場所 京都府京都文化博物館別館及び周辺 出展者数 159グループ(159ブース) 来場者数 37,300名(3日間計) (2) 京都アートフリーマーケット2015春 開催期間 平成27年3月13日～15日 開催場所 京都府京都文化博物館別館及び周辺

⑧ こころの未来育み事業(継続)(文化芸術振興課)

京都大学の「こころの未来研究センター」と協働して、地域と連携した研究の成果等を、セミナーの開催や府施策への活用等を通じて、若者をはじめ幅広い府民に還元し、豊かな心を育む機会を提供した。

平成 25 年度実施結果	平成 26 年度実施状況
(1) 「こころの広場」セミナーの開催 開催日 平成25年11月10日 場 所 清輝楼(宮津市) 参加者 70名 (2) 「こころとモノをつなぐワザの研究」に関するシンポジウムの開催 開催日 平成25年11月23日 場 所 京都大学 参加者 124名	(1) 「こころの広場」セミナーの開催 開催日 平成26年8月6日 場 所 京都大学 参加者 131名 (2) 「こころとモノをつなぐワザの研究」に関するシンポジウムの開催 開催日 平成27年1月12日 場 所 京都観世会館

⑨ こころを育む古典の日推進事業(継続)(文化政策課)

源氏物語千年紀委員会が提唱した「古典の日」宣言を継承発展させるため、京都府、京都市、府・市教育委員会等、関係機関が連携して、古典に親しみ次の世代へつないでいく事業を実施した。

平成 25 年度実施結果	平成 26 年度実施状況
(1) 古典の日フォーラム2013 の開催 開催日 平成25年11月1日 場 所 京都コンサートホール 参加者 1,650名 (2) 古典の日フォーラムin関西の開催 開催日 平成26年2月1日 場 所 国立文楽劇場 参加者 750名	(1) 古典の日フォーラム2014の開催 開催日 平成26年11月1日 場 所 国立京都国際会館 参加者 1,800名 (2) 古典の日朗読コンテストの開催 開催日 平成26年11月29日 場 所 金剛能楽堂 参加者 350名

⑩ Creative KYOTO クリエーター育成事業(事業名変更・継続)(ものづくり振興課)

コンテンツ産業及びクリエイターの活動支援、映画制作に携わる国内外の若手人材(クリエイター)を対象にしたワークショップなどを実施した。

平成 25 年度実施状況	平成 26 年度実施状況
<京都映画若手才能育成ラボ> 開催日 平成25年12月9日~12日 会 場 東映京都撮影所、松竹撮影所、京都文化博物館等 参加者 国内外の若手クリエイター 20名	<京都映画若手才能育成ラボ> 開催日 平成26年12月15日~18日 会 場 東映京都撮影所、松竹撮影所、京都文化博物館等 参加者 国内外の若手クリエイター 20名

⑪ 「きょうと元気な地域づくり応援ファンド」推進事業(継続・再掲)(地域力ビジネス課)

⑫ 京都ものづくりフェア(継続・再掲)(労働・雇用政策課)

**⑬ 一商一特パワーアップ事業(継続・再掲)(商業・経営支援課)**

**⑭ 共に育む「命の里」事業(継続)(農村振興課)**

過疎化・高齢化集落を含む農村地域の複数集落による連携組織の設立や、里力再生計画の策定、計画に基づく協働活動(住民の暮らしを守る高齢者サロンや福祉輸送などの活動を含む)の実施等を、地域リーダーだけでなく地域に住む皆さんの意見を聞きながらきめ細かく支援し、過疎化・高齢化の進む農村地域の活性化を図った。

平成 25 年度実施状況	平成 26 年度実施状況
実施箇所 府内46地区	実施箇所 府内46地区 (H26. 12月末現在)

**⑮ 農林水産フェスティバル(継続・再掲)(流通・ブランド戦略課)**

**(2) 活動団体への支援及び多様な機関・団体等の連携・協働**

活動団体の地域横断的な支援や、地域のボランティア人材等と活動団体のマッチング(調整・仲介)を行うとともに、多様な機関・団体等の連携・協働を推進する。

**① 「プロボノ」を活かした地域力応援事業(新規)(府民力推進課)**

複雑化・高度化する地域課題に対して、地域力再生活動団体の解決能力の向上を図るため、高度な専門知識や能力を有する専門家をプロボノとして地域力再生活動団体に派遣し、課題解決に向けた指導や支援を展開した。

平成 26 年度実施状況
・フォーラム「きょうとプロボノ元年」の開催 (参加者数78人) ・プロボノ人材登録者数 77人

**② KYOのあけぼのフェスティバル(継続・再掲)(男女共同参画課)**

**③ 男女共同参画に関する意見交換会(継続・再掲)(男女共同参画課)**

#### ④ 男女共同参画の視点での防災支援事業(名称変更)(継続)(男女共同参画課)

男女共同参画の視点による防災について、避難所の運営者等に必要なことを理解してもらうため、避難所運営ガイドを作成するとともに、行政、支援機関・団体等が一体となった支援体制づくりを進めた。

平成 25 年度実施結果	平成 26 年度実施状況
〔防災プラットフォーム〕 内 容 (1) 男女共同参画の視点での避難所運営ガイドの作成 (2) 被災時の支援体制づくり (3) 男女共同参画の視点での防災プラットフォーム ボランティア相談養成(基礎)セミナーの開催 (4) 展示コーナーの設置 (5) 男女共同参画の視点での防災に関する啓発事業(KYOのあけぼのフェスティバルワークショップ出展・市主催イベントに出展参加) 会議等 (1) 企画会議(1回開催) (2) 作業部会(6回開催)	〔防災支援事業〕 内 容 (1) 男女共同参画の視点による避難所運営ガイドの作成 (2) 避難所設営体験講座(3カ所) (3) 災害時の女性相談サポーター養成講座(5日間、21名受講・19名修了) (4) 府男女共同参画センターを核とした災害時の女性支援ネットワークづくり(KYOのあけぼのフェスティバルワークショップ出展・市開催イベントに出展参加)

#### ⑤ 京の女性活躍応援会議(新規・再掲)(男女共同参画課)

#### ⑥ 農林水産フェスティバル(継続・再掲)(研究普及ブランド課)

#### ⑦ 京都式ソーシャル・ビジネス支援事業費(新規)(地域カビジネス課)

地域課題を解決するために、ビジネス的な手法により新しい仕事や働き方で、自分たちの手で継続的なまちづくりに取り組む京都地域カビジネス(京都式ソーシャル・ビジネス)を支援した。

平成 26 年度実施状況
(1) 応援プラットフォーム人づくり事業 地域カビジネスの実践的な活動を通じて、地域カビジネスの担い手を育成 育成人数 74人 (2) 応援カフェ・交流セミナー 京都地域カビジネスに取り組む団体等の交流・マッチングの場を創出することによりコラボを推進 開催回数 5回 参加者数 306人 (3) 地域カ再生プロジェクト支援事業交付金(ソーシャル・ビジネスプログラム) 地域カ再生活動団体等が地域課題を解決するために、ビジネス的手法を用いて取り組む事業を支援 支援件数 46件 支援額 28,395千円

### (3) 地域の多様な活動・団体等への男女共同参画

NPOや自治会、消防団など、地域のさまざまな活動・団体等への男女双方の参画と、各団体等の代表・役員等への女性の参画を進める。

#### ① 地域団体育成事業(継続・再掲)(男女共同参画課)

#### ② 女性リーダー育成事業(京都府女性の船)(継続・再掲)(男女共同参画課)

#### ③ 地域女性リーダー研修講座(継続)(社会教育課)

女性の主体的な学習活動や社会参加の促進に向けて、地域でリーダーとして活躍する女性の実践力の向上を図った。

平成 25 年度実施結果	平成 26 年度実施状況
参加者数 83名	参加者数 84名

## 8 多様な立場の府民が安心して暮らせる環境の整備

### (1) 一人ひとりの事情に応じた生活・就労支援

誰もが就業による生活の自立が可能となるように、一人ひとりの事情に応じて総合的な支援を行う。

#### ① 内職者団体運営補助事業（継続）（男女共同参画課）

内職者の労働条件の向上と生活の安定を図るため、内職者団体の運営に要する経費に対して助成した。

平成 25 年度実施状況	平成 26 年度実施状況
3市町 6団体	3市町 5団体

#### ② 京都ジョブパークマザーズジョブカフェの運営（継続・再掲）

（男女共同参画課、家庭支援課、総合就業支援室）

#### ③ 北京都ジョブパークマザーズジョブカフェの運営（継続・再掲）

（男女共同参画課、家庭支援課、総合就業支援室）

#### ④ ママ再就職フェア（継続・再掲）（男女共同参画課）

#### ⑤ 職業訓練支援制度（継続）（人づくり推進課）

公共職業能力開発施設の職業訓練を受ける母子家庭の母に、訓練期間中の生活援護を図るため訓練手当を支給した。

平成 25 年度実施結果	平成 26 年度実施状況
72名（障害者等同じ制度の適用を受ける方も含む）	継 続

#### ⑥ 障害者自立就労支援事業（継続）（人づくり推進課）

障害者の職業訓練機会や職域の拡大を図り、就職を促進するため、障害者校以外の府立高等技術専門校において、知的障害者等を対象に、職業訓練・就職・職場定着までのきめ細かい一体的な支援により、障害者の自立・就労支援を行った。

平成 25 年度実施結果	平成 26 年度実施状況
(1) 発達障害者対象訓練 キャリア・プログラム科（1年） 入校者 10名 修了者 7名（就業率100.0%） (2) 知的障害者対象訓練 総合実務科（1年） 入校者 10名 修了者 7名（就業率83.3%）	(1) 発達障害者対象訓練 キャリア・プログラム科（1年） 入校者 10名 (2) 知的障害者対象訓練 総合実務科（1年） 入校者 7名



⑦ 生活福祉相談・就労支援事業(継続)(福祉・援護課、介護・地域福祉課)

生活困窮者の抱える様々な相談を一元的に受け付ける生活就労相談窓口を設置し、生活保護や生活福祉資金貸付けの相談から、就労・自立までの継続的な支援を実施した。

平成 25 年度実施結果	平成 26 年度実施状況
(1) 就労支援員 26名(市、府保健所) (2) 就労支援員、キャリアカウンセラー、 求人開拓員 29名(京都市) (3) 生活福祉資金相談員 42名 (市区町村社会福祉協議会)	(1) 就労支援員 26名(市、府保健所) (2) 就労支援員、キャリアカウンセラー、 求人開拓員 29名(京都市) (3) 生活福祉資金相談員 42名 (市区町村社会福祉協議会)

⑧ 京都市生活・就労一体型支援事業(継続・一部新規)

(総合就業支援室、福祉・援護課、人づくり推進課)

多様な立場の府民が安心して暮らせる環境整備のため、生活保護と就労支援の連携の一層強化や、自立就労をサポートする機能を拡充し、働く意欲のある生活保護受給者等の就労を総合的に支援した。

平成 25 年度実施結果	平成 26 年度実施状況
(1) 京都市CSRステップアップ事業 支援者数 27名 中間的就労受入事業所 2事業所 (2) ジョブトライ事業 参加者数 36名 (3) 技術系資格取得訓練、スキルアップ訓練 延べ参加者数 205名 (4) 自立就労サポートセンターの運営 (北部サテライトを創設) (5) 日常生活等自立支援事業 6箇所 (通所型4箇所、宿泊型2箇所) (6) 就労体験事業 4箇所 (7) 中間的就労創出事業 参加者数 25名 (8) 子どもの居場所づくり事業 2箇所	(1) 中間的就労提供事業者開拓推進事業 参加者数 46名(H26, 12月末現在) (2) 京都人材ジョブトライ事業 参加者数 64名(H26, 12月末現在) (3) 技術系資格取得訓練、スキルアップ訓練 延べ参加者数 140名(H26, 12月末現在) (4) 自立就労サポートセンターの運営 (5) 日常生活等自立支援事業 6箇所 (通所型4箇所、宿泊型2箇所) (6) 就労体験事業 4箇所 (7) 中間的就労創出事業 参加者数 25名(H26, 11月末現在) (8) 子どもの居場所づくり事業 2箇所

⑨ 職業技能訓練給付金支援事業(継続)(家庭支援課)

ひとり親家庭の方に、職業技能訓練給付金(指定教育訓練講座受講費の一部)を支給した。

平成 25 年度実施結果	平成 26 年度実施状況
(1) 高等職業訓練促進給付金 10名 (2) 自立支援教育訓練給付金 0名	継 続

### ⑩ 母子家庭の母の就労支援事業(継続)(家庭支援課)

直ちに就労が困難な母子家庭の母に対し、就業に向けた職業体験やビジネスマナーの習得及び生活相談を実施するとともに、参加者に安心して事業に参加できるよう保育(子育て)ルームを設置し、早期に就労に結びつけることにより母子家庭の生活の安定と心のケアを図った。

平成 25 年度実施結果	平成 26 年度実施状況
実施事業所 2箇所 (1) 生活相談「心のケア」 参加者に対し、悩みなどの相談に乗り「心のケア」を実施 (2) 就労体験 受託事業者等の施設において就労体験を実施 (3) 就労スキルの習得に向けた支援 ビジネスマナー講座、コミュニケーションスキルの習得など、就労に向けて必要なスキルの習得を実施 (4) 就労に向けた支援 ひとり親家庭自立支援センター、ハローワーク及び市区町村と連携して就労に向けた支援を実施	実施事業所 2箇所 (1) 生活相談「心のケア」 参加者に対し、悩みなどの相談に乗り「心のケア」を実施 (2) 就労体験 受託事業者等の施設において就労体験を実施 (3) 就労スキルの習得に向けた支援 ビジネスマナー講座、コミュニケーションスキルの習得など、就労に向けて必要なスキルの習得を実施 (4) 就労に向けた支援 ひとり親家庭自立支援センター、ハローワーク及び市区町村と連携して就労に向けた支援を実施

### ⑪ 京都ジョブパークの運営(継続)(総合就業支援室)

ハローワークとの一体的実施により、正規雇用を望む若年者はもとより、中高年齢者や女性の方等の幅広い府民に対して、相談からスキルアップ、就職、職場定着までをワンストップで支援した。

設置コーナー：総合受付、カウンセリングコーナー、大学生コーナー、はあとふるコーナー、福祉人材コーナー等を設置

<平成25年度実施結果>

(単位：人)

区 分	来所者	就職内定者	うち女性
総合相談窓口	11,939		
大学生コーナー	13,394	1,713	1,025
留学生コーナー	1,574	75	43
カウンセリングコーナー	30,819	2,941	1,134
はあとふるコーナー	3,328	258	76
農林水産業コーナー	714	53	8
福祉人材コーナー	2,308	265	131
自立就労支援コーナー	3,458	176	41
ハローワークコーナー	22,172	766	297
京都府職業紹介コーナー	2,894		
京都JPカレッジ	2,943	40	12
マザーズジョブカフェ	13,648	1,023	1,022
北部サテライト	12,378	1,298	796
合 計	121,569	8,608	4,585